

**ANEST IWATA Racing with Arnage
2023 SUPER GT RACE REPORT**

第 2 戦 富士スピードウェイ(静岡県)



ANEST IWATA Racing with Arnage は、5月3日(水)~4日(木)、静岡県富士スピードウェイで開催された 2023 SUPER GT 第 2 戦 GT300 クラスに ANEST IWATA Racing RC F GT3 で参戦しました。
今回、SUPER GT シリーズの決勝標準距離 300km を 1.5 倍に延長した走行距離 450km のレースとして開催されました。

これに伴い、レース中のピットストップも 2 回が義務づけられました。
ANEST IWATA Racing は今シーズン、イゴール・オオムラ・フラガ(24 歳)と古谷悠河(22 歳)の陣容で GT300 クラスを闘いますが、450km レースではリザーブ選手として 3 人目の小山美姫(25 歳)がチームに加わりました。
小山は、日本の女子選手として初めて FIA 基準のフォーミュラカーレースシリーズでシリーズチャンピオンになった実力派です。

■公式予選

悪天候に見舞われたシリーズ開幕戦から一転、富士スピードウェイは汗ばむほどの快晴となりました。

3 日水曜日午後に行われた公式予選では、Q1、Q2 の 2 段階でタイムアタックを行い、タイム順に決勝スタートポジションを決めます。チームは Q1 セッションを古谷にまかせ、タイムアタックに送り出しました。

古谷はフロントタイヤの暖まりが十分ではないと感じましたが、予選セッションの 10 分間でタイヤをウォームアップするには限界があります。結局古谷は納得のいく状態にまでタイヤを温められずグリップ不足のままタイムアタックに入り、ラップタイムは 1 分 36 秒 131 で B 組 9 番手に終わりました。

Q2 進出の 8 番手になるには 0 秒 079 足りませんでした。

この結果、ANEST IWATA Racing RC F GT3 のスタート位置は 17 番手と決まりました。

■決勝レース

4 日木曜日富士スピードウェイは快晴となりました。公式予選でスタート位置が後方となってしまったので、チームは決勝レーススタート後、早めのピットインを行い、集団から離れたポジションでペースアップして順位を上げ、レース後半に 2 回目のピットストップを行うという作戦を選びました。

スタートを担当したイゴールは、100 周が予定されているレースの 7 周目に早めの 1 回目ピットインを行い、最小限だけ給油を行うとそのままコースへ戻りました。多くのチームはレース距離を 3 等分し、30 周を過ぎた頃から 1 回目のピットインを始めましたが、イゴールは走り続け、見かけ上の順位は 35 周目に 6 番手まで上がりました。

しかし本来狙っていたペースには乗れず、48 周を走って 2 回目のピットインを行い、ここでイゴールは古谷と交代、給油を行いました。1 回目のピットインを早めの 7 周目に行った結果ガソリンタンクはほぼ空になっており、レースを走りきるためにはそこから満タンにする必要がありました。この給油に時間がかかったこともあり、古谷がコースへ復帰すると順位は 20 番手にまで下がっていました。

その後古谷は力走を続け、前を走るライバル車が 2 回目のピット作業をするたびに順位を上げていきました。最終的にはスタート時よりも 3 ポジション上の 14 位で 91 周を走りきりチェッカーフラッグを受けました。

次回シリーズ第 3 戦は、6 月 3 日(土)~4 日(日)、三重県鈴鹿サーキットで開催される予定です。

No Theory.

夢ある無謀を。

■正式結果

公式予選 クラス 17 位(出走 26 台)

Q1: 1 分 36 秒 131(古谷悠河:9 位/26 台)

Q2: 出走せず

決勝 クラス 14 位(出走 26 台) 2 周おくれ

■コメント

Aドライバー: イゴール・オオムラ・フラガ

「開幕戦では悪天候で僕はほとんどまともに走れませんでしたから、今回やっとまともに走れました。でも選択したタイヤが決勝レースのコンディションには合っていなかったように思ったよりペースが上がらなかったのが悔しいです。でも、きちんと完走してロングランのデータを収集できたので、チームみんなで相談して、次に繋がります」

Bドライバー: 古谷悠河

「予選は、気温が想定よりも下がり過ぎたようでうまくいきませんでした。僕らはロングランのペースを見つけるのに、まだ苦労しています。終盤、前の車を追いかける過程で自分でも少しミスをしたので反省点もありますが、まずはロングランのペースを上げることが課題です。次のレースに向けての宿題としてなんとか解決できるよう頑張ります」

Cドライバー: 小山美姫

「今回、私が乗る機会はありませんでしたが、もし乗れたとしたら嬉しいけれど、その時はチームとしてあまり希望がない時だったはずなので、複雑な気分でした。私はまだレースで乗っていないので話を聞くことしかできませんけれど、乗ることがあればポイント獲得に貢献できるように頑張りたいと思っています」

武田克己総監督

「予選 Q2 に進出できなかったのが、決勝レースはちょっと厳しくなりました。それでも 2 人のドライバーは 100%の力を発揮してくれ、大きなトラブルもなく完走できました。正直なところ、今日のところが今のチームの総合力なのかなと思います。これまでロングランのデータを集める機会があまりなかったのが、今回得られたデータには大きな意味があります。これをしっかりと分析して次のレースに繋がっていきます」

No Theory.

夢ある無謀を。